

会 議 録

会 議 の 名 称	令和４年度第３回行田市男女共同参画推進審議会	
開 催 日 時	令和５年２月２１日（火） 開会：午後１時３０分・閉会：午後３時４０分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター ２階 学習室	
出席者（委員） 氏 名	田代美江子委員（会長）、山崎孝子委員（副会長）、高野葉子委員、金子彰委員、根岸君枝委員、横田範博委員、加藤修一委員、大野久美子委員（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員） 氏 名	井上文子委員、茂木美智代委員、吉田江利委員、櫛引浩士委員、堀越稔委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、新島紀子（主任）	
会 議 内 容	（１）第３年度分３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について （２）第４次ぎょうだ男女共同参画プランについて （３）その他	
会 議 資 料	・令和３年度分第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案） ・プランへの変更点 ・第４次ぎょうだ男女共同参画プラン（案） ・年齢階級別自殺率の年次推移	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 無	
会 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和５年 ３月２９日	会長 田代 美江子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会 ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認
事務局	2 本日の会議は過半数が出席しているので会議は成立している。 また、非公開とする内容はない。 なお、本日の傍聴希望は無である。
田代会長	・ それでは、次第に基づき議事を進行する。 議事（１）令和３年度分第３次ぎょうだ男女共同参画対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について、事務局に説明を求める。
事務局	・ 議事（１）令和３年度分第３次ぎょうだ男女共同参画対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について説明。
議長	・ コメントが書かれているものについて確認していきたい。 まず、１男女共同参画に関する推進体制の強化のところ、お気づきの点、ご意見、言い回しとか誤字脱字もご意見いただきたい。例えば、１番目だが、「全体の男女比率がはっきりしないので」を、「比率を明記してください」とか、「具体的に目標を明記してください」とか、そういう書き方でシンプルにした方がすっきりすると思うとか、皆さん、何かお気づきの点あればお願いしたい。
山崎委員	・ 建築開発課も「具体的に目標値を明記してください」とするべきだ。

大野委員	・ 部署によって数字が出ているところは目標がわかりやすいが、明記してないところはわかりづらい。
横田委員	・ 些細なことだが、「男女共同参画推進センター」の字が余りにも小さいので、2段で折り返して書いた方がいいと思う。
議長	・ 折り返して書くようにしましょう。では、また戻ってもいいので、次の2政策決定過程における男女共同参画の推進のところでお気づきの点があるか。文中「いかがでしょうか」という所が気になるが、どうか。また、「声かけに努めてください」と「いかがでしょうか」の所は、どういう意味だろうか。
山崎委員	・ 「やってはいかがですか」ということですかね。
議長	・ 「声かけを積極的に行ってください」みたいな感じですかね。次の3市民との連携による男女共同参画の推進についてはどうか。
高野委員	・ 勘違いかもしれないが、広報広聴課のところの「外国人向けの行田市勢要覧の市勢」は、政治の政ではないか。
事務局	・ 政治の政であった。
議長	・ 次に4男女の仕事と生活の調和ワークライフバランスの所をお願いします。人事課の最初のものだが、「内訳を明記してください」としましょう。同じく、人事課で、「実施施策は理解できますが結果報告は評価できません」とあるが、これはなんで評価できないのでしたっけ。
事務局	・ 確か、ノー残業デーを電子メールで、全員に送り周知したということしかなく、それにより実際にどうなったのかを知りた

	いので、その結果では、評価できませんと言われていたと思う。
議長	ちゃんと実施したのかわからないような結果報告だと、「評価できません」という話でしたね。
横田委員	ノー残業デーが守られたかということです。結果報告がなく、ただメールで送ったという一方的なものでしたから、評価できませんとなった。
議長	それでは、その辺の事がわかるように修正をお願いします。他に無ければ、5 経済社会における男女共同参画の推進雇用機会均等法についてお願いします。 農政課の所で、ここは「開催してください。」に直したほうがよいかな。
山崎委員	欲しいより、その方が良い。
議長	次に、6 子育てしやすい環境の整備・充実をお願いします。
山崎委員	人事課だが、取得可能者が何人いて取得率が何%になるかを明記し、取得率を出していただければ良いと思う。
議長	評価できないことと要望とを分けたらどうか。
山崎委員	「評価できますが」でなく「できます」ではどうか。
議長	「ただし」とか入れても良いのではないかな。子ども未来課の1 番目の「単に数字をクリアすることだけではないので、計画は実施していると思われます。」の意味が、よくわからなかった。

大野委員	文章が、おかしかったですね。「単に数字をクリアすることだけではなく、計画を実施していることを評価する。」ですかね。
議長	「計画を実施していることを評価します。」でいいと思います。次に、7 男女共同参画の視点に立った防災・防犯体制の推進のところをお願いします。文末はまた後で調整する。「明記ください」とか「継続してください」とか。
山崎委員	危機管理課の 2 行目だが、「出前講座等に新しい試みを取り入れ、内容が話題となっている点」の内容は、どんなことなのか。
横田委員	表現が悪かったかもしれないが、今出前講座で認知症とか話題になっている新しいものを取り入れてくれているのです。これからも出前講座に新しい試みとして話題となっている内容を入れてほしいということだ。
山崎委員	では「話題となっている内容を取り入れているところを評価します。」ではどうか。
横田委員	良いと思う。
議長	次に 8 生活上の困難に直面しやすい人々が暮らしやすい環境の整備のところをお願いします。
山崎委員	子ども未来課の②の具体的施策が母子家庭の云々となっているがどうなのか。
加藤委員	「母子家庭」を「母子父子家庭」あるいは「ひとり親」に入れ替えるということではないか。

山崎委員	・ 入れた方がよい。ここには確かに母子家庭の就労、自立の促進って書いてある。そこのところだと思う。
議長	・ 意見が出たということで、ここは「ないでしょうか」にしますか。男女共同参画プランの中のものだから。やはり母子家庭のほうが遥かに貧困ですごく大変なのはもちろんだが、母子家庭も多様で、ひとり親家庭も多様だが、男性の子育ての問題もあり、こういう意見は、大切な気がします。
事務局	・ 先ほどから意見が出ている具体的施策の母子家庭というところは、担当課がやっているのではなく、プラン中に書かれていることなので、担当課に指摘するのはおかしい。作成中の4次プランの方で、訂正させてもらえればと思います。
議長	・ そもそも計画がどうなのかとか、そういうことも考えなければいけないが、ここは、削除するということか。
事務局	・ 削除でいいと思います。
議長	・ やったことに対しての評価というより、計画のあり方へのコメントということで、入れておいてもいいのではかい。
事務局	・ 了解した。
議長	・ 次、9 生涯を通じた健康づくりへの支援をお願いします。意見はないか。とくに、ありませんか。次に、10 暴力のない社会づくりの推進をお願いします。とくに、ありませんか。では、11DV被害者の安全確保と支援体制の充実をお願いします。
山崎委員	・ 「事業所でしょうか」というところが気になる。

議長	これは、質問になってしまっている。「どのような内容の仕事をされているか明記してください。」でいいのか。具体的にどういうところが事業所になっているのか。「事業所と協力をして」とか書いてあったのだろうか。
横田委員	社協とかそういう関係ですね。
事務局	大野委員からあげてもらっていて、意見というより質問事項としてあげられている感じです。
議長	質問に答えてもらっていないのですよね。少し、評価とはずれますから 2 点目だけにしてよいか。2 点目は「繋げてください」という感じですかね。では、1 点目は質問なので削除します。よろしいか。次、12 セクシャル・ハラスメント防止対策をお願いします。
山崎委員	「説明してほしい」の所を直したいです。
議長	「男女比を明記してください。」では、どうか。
山崎委員	了解した。
議長	13 関連機関との連携の推進についてはどうか。
加藤委員	2 行目の「人命第一に活動」若しくは、「人命第一の活動をしたこと」としてはどうか。
議長	「人命第一の活動をしたことは評価します。」でいいと思う。次の 14 性別による固定的な役割分担意識の解消をお願いします。一行目は、「父親の参加人数を明記してください。」ではどうか。

山崎委員	・ それで良いと思う。
議長	・ 健康づくり課の三つ目は、「保健センター見学は外部だけでなく施設内部を見学させてほしい」と以前議論した記憶がある。この施設内部の見学ができないのは、衛生上とかの理由なのか。「見学を検討してください。」くらいにしたいが。「施設内部の見学について検討してください。」、「男女比を明記してください。」ではどうか。では 15 男女平等教育の推進はどうか。また、それ以外の所でも、何かあるか。
加藤委員	・ 1 男女共同参画に関する推進体制の強化のところの、農業委員会で「農業イコール食の時代なので女性委員の」とあるが、もう少し分かりやすく「農業イコール食の時代になり女性委員の観点が重要視されているので」としたらどうか。
議長	・ その方が、分かりやすくなると思う。他にいかがか。ここで議論しているのでなんとなく分かったようなつもりになっているが、外部の人が見たら理解できないというのも、確認した方がいい。気になったところがあったら言ってほしい。
山崎委員	・ 最後の 15 番で、教育指導課の「生の体験」というのを「実体験」に直してはどうか。
議長	・ 私も気になっていた。いいと思う。
根岸委員	・ 15 番のところだが、「中学校における社会体験チャレンジ事業で中学生の姿を」とあるが、中学校なので中学生の姿は当たり前なのでこれは「生徒」とかに表現を変えた方が良いと思う。14 番の健康づくり課の「保健センター見学は外部だけでなく」だが、この意見が出たのがいつかわからないが、コロナ下にお

	いて保健センターは全く見学なんてできない状況だったと思う。その間の意見だとしたら、これは保健センターの方たちへの意見としては違うと思う。
議長	・ よくわかった。「検討してください」くらいにしたらどうか。おっしゃることは、私たちも分かっていたことですが、今後のことや、あと保健センターの敷居の高さというか、意外と若者たちに馴染がない感じなので、この間は外枠だけ見せてもらっていたみたいな意見があったのです。
山崎委員	・ そうですね。
議長	・ だから、見られる範囲を検討してもらってもいいのではないかと考えているわけです。
根岸委員	・ 以前は、入れたのです。たぶんコロナ下で厳しくなってしまうので、このあたりも考慮して文にした方が良くと思う。
議長	・ では、例えば「保健センター見学は外部だけでなく」の前に「コロナ下の影響があったと思いますが」とか入れたらどうか。
根岸委員	・ 一言、「収束後は」とか入れてはどうか。
議長	・ 「収束後は外部だけでなく施設内部の見学も再検討してください。」としてはどうか。
根岸委員	・ その方が、相手も受け入れやすいと思う。
議長	・ そうですね。いいと思う。他にどうか。では、全体的にお願い

	いする。
事務局	・ 1 ページ目だが、ここでの最初の文章と、皆様から上がった意見について、何かご意見があればと思う。
議長	・ これについての皆様のご意見を願います。ここに福祉課が特出しされているのは、これでよいのか。
事務局	・ 委員からの意見を、ここに入れただけですので。
議長	・ どこかの目標の中に入れることはできないのか。福祉課は、これで違和感はないか。
事務局	・ 福祉課の対応が、このまま継続してほしいということであれば、全体の意見として、ここにあっても違和感はない気もする。
議長	・ しかし、虐待問題についての個別の問題ではないのか。
横田委員	・ これだと継続してほしいとだけで、もっと活動すべき、やってほしいということを言いたいのではないか。
山崎委員	・ 継続という感じではないのか。
横田委員	・ 今まで通りではなく、熟知しているのだから、さらに一步突っ込んだ活動を継続してほしい。推進してほしいと言いたいのでは。
議長	・ きっと、元々書いた方は評価したのですよね。ただ、この部分にあるのは、やはりおかしく感じる。
加藤委員	・ 男女共同参画のことだから、ここに福祉課のことだけ意見を

	載せなくてもいいのではないか。
議長	• それでは、これを入れるとすると、どの取り組みのところに 入ると思うか。
加藤委員	• 11 番ですかね。
山崎委員	• そうですね。
議長	• 11 番のところに、子どもの安全確保もあるから、ここではなく、 11 番の福祉課のところにに入れていただこう。 次に、「啓発活動については、実施をして 3 の成果があったと 記入があるが、担当課により A であったり B であったりして評 価がバラバラな感じを受けた。」というのは全体の話なのか。
金子委員	• 課によって満足したと思えば A になるし、まだまだだと思え ば B になる。その辺の評価の仕方がバラバラな感じがあるので、 意見を出したものだ。
議長	• そうすると、各課が行っている啓発活動の評価の仕方がバラ バラなので内容を書いてもらうために出したとのことか。
金子委員	• 評価の仕方は実施していれば一応は A でもいいかなと思う。
議長	• とても重要なご意見だと思う。やはり評価の在り方について の意見ということなので、そのあたりのことがきちんと言え るといいと思う。
金子委員	• ただ数字が出ないものだから、わからないのです。
議長	• そこが難しい。「評価の基準を明確にし、評価に取り組んで

	ください。」という感じなのかな。
金子委員	・ 感じ方だから難しいですね。
議長	・ やはり、評価指標が明確でないから、こういうことが起こるのですから、特に「啓発活動に取り組んでいる各課においては評価基準を明確にしたうえで評価に取り組んでください。」としますか。
金子委員	・ それで、良いと思います。
議長	・ この評価に関してはとても大切で、私たちも感じていることだ。重要な意見なので、今の文章で問題なければ載せたいと思う。他に、全体について何か言っておきたいとことはあるか。
加藤委員	・ 先の「福祉課の対応については」のところは、項目の 10 番ではどうですか。 10 番の「暴力のない社会づくりの推進」の中に、同じような意見があります。
議長	・ 11 番も「DV」とか「虐待だから子どもの安全確保」というところで児童虐待と書いてあるが、10 番は虐待の未然防止とか啓発活動とか明確にあるのは 10 番ですね。では、そのように対応をお願いします。 他に何かありますか。なんとなく、言語化しにくいが、長年取り組んでいるが、なんとなく進まないもどかしいところもあり、でも努力していただいているなというところもあって、そのあたりの気持ちを表現するのが難しいと感じている。 文章の末尾は、「思います。」とか「ほしいです。」ではなく、「実感しています。」とか、「評価します。」とかいう形に書き直していた気がします。

事務局	・ ちょっと強めな感じか。
議長	・ 個人の意見が、ここに書いてあるのではなく、私たち審議会の最終的な見解なので、公的な感じにしてもらいたい。
事務局	・ ご意見をいただいた所を修正したものを皆さんに送付します。それで最終的な意見をもう一回聞かせてもらって、それから提出します。
議長	・ よろしく願います。他にいかがか。
横田委員	・ 目標などが、数値化されているところは、評価しやすいが、抽象的な言葉に逃げているところも結構ある。逃げているとは失礼かもしれないが、その時の評価を A にしようか B にしようか迷うときがある。やはり目標の設定や基準をもっと明確にしてほしい。全体の統一のものを作った方が良くと思う。
議長	・ 先ほど金子委員から提案のあった意見で、取組の計画段階において数値目標だけでなくでもいいので、具体的な実践などの評価基準が必要だということなので、「明確な評価基準を設定することを要望します。」と入れてみてはどうか。
山崎委員	・ そうすると良くなりますね。
横田委員	・ そうしないと、おそらくみんな抽象的な表現になる。
議長	・ 私たちとしては、各部署の自己評価を確認していくときに明確な目標を出してもらわないと分からない。目標をどう設定するかということがとても重要になってくる。特に 3 つ目の「各

	課で男女共同参画の主旨に添って努力の形跡が見られる」というのは評価しているが、やはり「男女共同参画プランの主旨に添って評価可能な明確な評価基準を設定することを希望します。」のような、要望まで言うとは強いかもしれないから「希望します。」くらいにするとか。また、「それが取り組みの推進に繋がると考えています。」のように入れてもらえるといいと思う。そうすると、いろいろ評価していくうえで、もやもやしている私たちの気持ちが表現できると思う。 他にいかがか。郵送されて、もう一回見るチャンスがあるということなので、それでご確認いただいて、最終的な私たちの意見ということになるので、よろしく願いしたい。では次に移りたい。 次に（２）第４次ぎょうだ男女共同参画プランについてご説明を事務局よりお願いする。
事務局	・ 事務局説明
議長	・ ご質問、ご意見をお願いしたい。 64 ページの最後の指標の考え方というのは先程議論した評価にも繋がる大切なところだ。連携会議の開催で、現状が１回で目標値が４回となっているが、それがイコール「支援の充実」になるのか、ずれている気がする。連会会議の開催をもっと増やすということが目標なのか。
事務局	・ 現在、年１回しか開催していない。連携をとる意味で全体の意見を聞いて、どういう悩みがあるのか、どんな傾向があるかとか、また警察の方を呼んで勉強会的なものという感じで開催している。事件が起きたときに開催するのでは間に合わないの、個々対応だ。事件が起きたらすぐ VIVA の方で関係各課の方へ行って対応するようにしている。定期的なこの開催というのと、実際に我々が何か催しでやっている会議とは、違うと感

	じてはいる。ただ目標とする「充実する」ということは、このような会議を開催すると、いろいろな関係各課が出てくるので、たくさんの事例が聞けて良いと感じている。数を増やせば、充実に繋がるのかなと思った。
山崎委員	・ では、「DV 被害者への支援の充実を図るため、庁内～」としてはどうですか。充実を図るために定期的な会議を何回目標にしてやりますと書けば、この目標値になりませんか。
議長	・ それでいいと思う。
事務局	・ ありがとうございます。
議長	・ 他に何かご質問とかご意見がありましたらお願いする。先程の自殺のところで、正式なパブリックコメントでなかったとしても、電話をかけてきてくださった方がいたので、私は大切にしたいと思います。実際に男性の方の自殺者が圧倒的に多いのは事実なので、15 ページのところで、男女別で見ると男性の方はやはり多いという部分を入れられたらいいと思う。
事務局	・ 男性の自殺者が多いのは事実で、コロナ禍で女性の自殺者が増えているという、その辺を加味して、ここの文章を少し変えさせてもらいたいと思う。
議長	・ 少し加筆するだけでもいいと思う。
事務局	・ 先ほど言った「男性の自殺者も相変わらず多い」という意味合いのものを付け足すということでよいか。
議長	・ 他にいかがか。変更点についてのご質問でもよい。

事務局	・ 今後の流れだが、今日の審議会をもって一応皆様からの意見を頂いて答申を受けたということにさせていただきたい。ただ、それで出来上がりというわけではなく、現在事務局で漢字の間違いとか、言い回しとかを直している段階だ。今日のこの審議会が終わった後に、まだ気になるところがあれば、随時連絡させていただきたい。大きい変更は無理だが、細かい言い回しとか書きぶりがおかしいものは、まだ直せる。それらを直して、審議会からの答申を受けたことにしていただき、それをもって市の方で3月中にプランを策定して、市長に決裁をいただこうと思っている。今日お渡ししたプランの内容をもう一度見ていただいて、ご意見をいただければと思っているので、よろしくお願いしたい。
議長	・ 別の質問だが、46 ページで、行田市の保育所入所待機児童数は0人なのか。
山崎委員	・ 子どもが少なくなっているのです、日本全国そんな感じだとテレビでも言っていた。
議長	・ 最初からあきらめている人が希望者に入っていないなど、統計の取り方によって、この数値は異なってくる。本当に0人であればすごいと思う。
事務局	・ あと1つ確認事項がある。あとで横田委員と相談しようかと思っていたが、重点施策7の防災の関係で、防災訓練を実施後に、各自治体から実施報告書をいただいている。その内容は、うちの自治体は何月何日に実施した、参加者は何名だというのをいただいているようだが、委員の皆さんから訓練の内容が重要だということであるので、実施報告書の中に内容を書いてもらわないとどういうことをやっているのかということが良く分からない状況だ。内容を書いてもらえるか担当課へ聞いた

	ら、各自治会に負担をかけるのは難しいとのことだった。ただ、参加者数は把握しているので、全体で 100 人参加した、内 80 人男性、女性が 20 人ということくらいであれば出せるのではないかという話になった。ただ、それは自治会の方で協力していただかないとできないことなので、やっていただけると助かるというお願いだ。いかがか。
横田 委員	・ いいと思う。
事務局	・ よろしいか。あまり負担をかけると大変だと思うので、例えば障がい者の方とか、一人世帯の方とか気を付けなければならぬと話されていたが、そこまでの統計を取るのは大変だと思う。
議長	・ 各自治会のアンケート用紙みたいな気軽なレベルで、項目などこちらで作って、「提出してください。」みたいにやったら負担はかからなくなると思う。
事務局	・ それでは、そのアンケート項目の中身をあとで相談させていただいてよいか。どこまでならできるかということについて、すり合わせしたい。
議長	・ 横田委員がいてくれる意味が大きい。
事務局	・ よろしく願います。
横田 委員	・ 了解した。今の意見は私個人的には問題ないと思う。審議会委員をやったからじゃないが、やはり今、女性の目線で防災というのを見直すべきだと思う。男性だけの世界じゃない。だから一緒にやるっていうのは基本だから、その方向付けには問題ないと思う。

議長	・ 是非よろしく願います。そういう実績こそが大切だ。今後のことについて、今説明いただいたが、ひとまず本日の議論の内容を反映させ正式な答申となり、この後、市としてこれを踏まえてプランを作成するという事でよろしいか。
事務局	・ 答申を受けたこれをたたき台にして、市の方でプランを作るという形にはなるが、現実的には審議会と市と並行作業でやっているの、これがこのままの形で仕上がると思う。
議長	・ もし他にも気になったことがあれば、皆様の方からご連絡していただければと思う。それではこれで本日の議事は終了だが、その他についてよろしく願います。
事務局	・ 前回の審議会のときに山崎委員さんからのご質問で、自殺者が増えていることの理由についてお示しできなかったの、資料等お持ちしている。一応コロナ下における原因としては、令和3年は令和2年と比較して経済・生活、家庭問題その他金融問題が増加した。一方、健康問題、学校問題、男女問題は減少したということになっている。だから、一応自殺者がコロナで増えたところについては、経済や生活家庭問題が主だったということで書いてあった。次に2枚目をご覧いただきたい。こちらが年齢階級別自殺死亡率の年次推移ということだが、1点気になる点としては、一番下にある赤い線だが、10～19歳の自殺者数が、結構令和元年から3年にかけて比較的増えている。また、青い線で真ん中らへんで増えている線があると思うが、20～29歳のこちらの線も急激に増えている。この結果からすると、若い方の自殺者数が増えているということが言える。
横田委員	・ 若者の自殺は何が原因で増えているのか。

事務局	これは、私の個人的な意見だが、自殺者の方は原因を言って亡くなるわけではない。あくまでも生きている我々とか、捜査に入った方々が原因としてこういうことが問題だったのであろうということの統計資料だと思う。だから、自殺の要因というのはいろんなことが複数に絡み合った結果としてなので、これが原因だという明示は難しい。ただ、経済とか家庭問題が増えているのかなというくらいしか言えないと思っている。
議長	例えば同じような健康問題抱えていても自殺する、しないとかが起こる。そうするとやはり孤立している、していないなど、人間関係が一番大きいと考えられると思う。そうすると、このコロナ下で孤立している若者たちが誰かに頼ったりできないとか、相談するチャンスや人と話したりするチャンスが減っているとかいうことが顕著にあらわれている可能性はあると思う。だから横のつながりなど、すごく意識していく必要がある。
事務局	今後の予定について、令和3年度分の、先ほど皆さんで討議なさったプランの進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見につきまして、所長も申し上げたように、皆様に審議いただき反映したものを事務局で修正いたしまして、再度皆様に送付するので、それに対してご意見等あったらご指摘いただきたい。その上で最終の評価及び意見とし、市長に報告するとともに市のホームページでの公開といった流れとなる。
議長	以上で全ての議事を終了した。皆様には長時間にわたりご意見いただいた。これを持って議長の任を解かせていただく。
事務局	閉会の言葉を山崎福会長にお願いする。
山崎副会長	閉会の言葉

--	--